

5 アカコッコ 【赤鷯】〈スズメ目ヒタキ科ツグミ亜科〉

指定 昭和 50 年 2 月 13 日 国指定天然記念物(動物)
所在地 東京都・鹿児島県
管理者 所在市町

日本列島の特産種で、周年生息する。全体に赤褐色であることからこの名前がつけられた。コッコは鳥を意味する。全長約 23 ㌢、ツグミの仲間。アカハラに大きさ・色・習性が似ているが、頭部の黒色、腹の赤褐色は濃い。伊豆諸島のうち最北の大島と最南の鳥島をのぞく 9 島で繁殖する。大島には秋冬にみられ、本州南部でもごく稀に観祭されることがある。屋久島では、産地で少数が繁殖していたが、現状は明らかでない。おそらく、以前には、日本本土の西南部に広く分布していて、何らかの原因で本土の集団が消滅し、伊豆諸島と屋久島に離れて分布するようになったと考えられる。分類学的検討はまだ十分にされていないが、本州中部以北から樺太、千島列島で繁殖するアカハラに近縁だと考えられる。アカハラは、冬季、日本列島の南西部から台湾、中国南部、フィリピン群島に移動する。

伊豆諸島ではスタジイやタブの照葉樹林に多く、三宅島より南ではオオバヤシャブシなどの二次林にもすむ。海岸近くから山地までさまざまなタイプの林にすんでいる。地上をはねて前進し、昆虫やミミズ、小動物を食べる。また木の実もよくたべる。低木の枝上や、シイ・タブの樹洞、崖地のたなの上に皿型の巣を作り、4～6 月に一つの巣に 3～4 卵を産む。さえずりはアカハラよりも短くてにごっている。